

団体名

特定非営利活動法人フードバンク山口（山口市）

代表者名	今村 主税	団体の目的 ・食品ロスの削減 ・生活困窮世帯や児童養護施設等への食糧支援 ・企業の社会的責任（CSR）の支援
構成員数	50人	
設立	H26年3月 NPO法人化 H29年7月	
問い合わせ先	foodbank.ymg@gmail.com	

事業名

山口県内のフードバンク普及啓発および食品管理システム整備事業

事業の目的

- ・フードバンク活動の拠点の形成と県域への活動拡大、参加機運の醸成、フードドライブ活動の推進や運営ノウハウの指導を行う
- ・食品の一元的な情報管理システムを構築し、活動地域を拡大しても食品を適切に管理できるようにする

事業の内容

- ①フードドライブの開催及び企業からの食品提供
 - ・県内の様々な地域イベントに参加（年間20回、1回で20～30人来場）し寄贈食品窓口にて来場者から食品を受領
 - ・一般受領とは別に7企業から約3tの食品を受領
- ②食品配布会の開催
 - ・偶数月の第3日曜日に食品の配布会を開催
 - ・配布先は子どもの貧困支援団体や母子生活支援施設、DV被害者支援団体、地域包括支援センター等
- ③「食品管理在庫システム」の構築

事業の成果

- ・食品を衛生的に保管できる場所が確保でき、フードドライブの実施回数や、企業からの大口寄付の受け入れ増加にもつながった
- ・フードバンクポストも新たに設置したことで、フードバンクの認知度が急激に上昇し、会員や支援者の増加にもつながっている

活動現場レポート！

フードドライブ活動 〈H29.10.8/山口市リサイクルプラザ〉

この日は、山口市開催の「エコパークまつり」の中で、フードドライブ活動が行われました。

訪れた方にお話を伺ってみると「社会のために何かしたいと思っていたが、こういった形の貢献であれば自分にも簡単にできそう」とのこと。受付横にはパネルも展示されており、ゆっくり眺めたり、興味深くチラシを手にとって帰られる方もいました。ブース内のコンテナには、早朝から米や菓子、缶詰、ジュース等が既に持ち込まれており、地域におけるフードバンク活動の拡がりを感じました。

食品の保管場所も見学させていただきました。

寄贈された食品一つひとつに番号をつけ、賞味期限、どこから寄贈され、誰の手に渡ったかまでを管理していくのは大変な作業だそうです。今回システムを導入したことで、一括してパソコン上で管理できるようになり、今後たくさんの寄贈を受けても迅速に対応できるようになったとのことでした。



フードドライブのPR



食品倉庫の様子

